

## お客様にアドバイスをする言葉の例

お勧めする商品	商品の説明文	結果(メリットなど)
車検とは	最低限の安全を確認する検査です	違反すると罰則があります。
定期点検整備とは	環境保全、安全確保、経費節約になります。	自動車使用者の義務です。
点検内容は	法令で定められた点検項目(2年点検は56項目、1年点検は26項目)を確認します。	確実に点検してご報告致します。
整備とは	保安基準に適合するように、ご予算に応じた内容となります	選択できます。
シビアコンディションとは	走行距離が多いなど厳しい使われ方をする場合は、点検及び交換時期が変わります。	点検項目の追加、点検及び交換部品の時期を早めます。
電子制御部品の故障とは	機械部品は使用頻度により徐々に摩耗して、故障現象を引き起こします。電子部品は突然に故障が起こります。又一時的に故障を起こし、すぐに正常になってしまう事もあります。	電子制御部品の点検は故障診断器などにより点検しますが、不具合は突発的に起こるので、予測ができません。
スパーク・プラグ	エンジン性能確保のため交換が必要です。エンジン内で燃焼を発生させるための点火栓です。1秒間に5~50回火花を発生します。	定期的な交換(2万Km毎)が必要です。交換しないと、環境汚染、燃料消費過大になります。
エンジン・オイル	エンジン性能確保のため交換が必要です。エンジン内部の摩擦部分を滑らかに回転させ、傷が付くことを防止します。	交換しないと、環境汚染、燃料消費過大になります。
オイル・フィルター	エンジン・オイルの不純物をろ過して、きれいにします。	交換しないと、環境汚染、多大な出費になります。
ファン・ベルト	エンジンの働きを補助します。エンジンの回転を伝えて様々な役目をしています。	ベルトがゆるんで切れると、発電しない、冷却水が循環しない、ハンドルが重くなる等になる
タイミング・ベルト	エンジン内部の回転部に動力を伝えます	ベルトがゆるんで切れると、エンジン破損など出費多大になります。
LLC(ロングライフクーラント)冷却水	エンジン内部を特殊な液体で冷却します。腐食防止、凍結防止をします。	長期間使用すると性能が低下します。(一般的には2年間が限度)
エア・クリーナ・エレメント	エンジンが吸入する空気のチリやホコリをろ過します。	交換しないと、環境汚染、燃料消費過大になります。
ブレーキ・フルード	制動時にブレーキ力を伝達します。ペダルの操作力を油圧にしてブレーキに作用させています。	長期間使用すると性能が低下し、安全確保ができません。
ブレーキ・パッド	制動時に摩擦作用します。円盤状のロータをパッドで挟み、摩擦でブレーキをかけます。	使用頻度が多いと摩耗して、パッドがすり減ってしまいます。
ブレーキ・ライニング	ドラムにライニングを押しつけ、摩擦でブレーキをかけます。	摩耗してくると、ブレーキが効かなくなります。
ドライブ・シャフト	曲がるときにスムーズに回転を伝えます。回転時にも円滑にエンジンの回転をタイヤに伝えるシャフトです。	ブーツが破れるとグリースが洩れて潤滑不良になり異音がでます。
タイヤ	自動車はタイヤで走ります。エンジンの動力を路面に伝えます。制動時、回転時に路面に密着します。	摩耗すると、路面との密着が悪くなり、滑りが発生して危険です。(雨天時は特に危険)
タイヤ空気圧	環境保全、安全確保、経費節約のため、こまめに点検して下さい。	老化したタイヤは空気が漏れます。

お勧めする商品	目的説明	商品の説明文
ウインド・ウオッシャ液	前方視界を確保する	前方視界を確保するための洗浄液です。
ワイパー・ブレード		前方視界を確保するためのブレード(羽根)です。
バッテリー	経費節減	快適なエンジン始動に役立ちます。長期使用により性能が低下すると、エンジン回転が重くなり燃費が悪化します。
バッテリー液	安全走行	液が不足すると、電気の貯蔵が少なくなり、極板が空気に露出すると爆発などの危険があります。
方向指示器	安全走行のため	通行車両に合図を送ります。
ヘッド・ランプ		夜間走行時に前方視界を確保します。 100m以上前方の障害物を確認します。
フォグ・ランプ		近距離の前方視界を明瞭にします。 濃霧時に、前方の障害物を確認します。
ストップ・ランプ		制動時、後方車両に合図をします。
テール・ランプ		夜間走行中、300m以上後方車両が確認します。
ライセンス・ランプ		夜間走行中、20m以上後方から番号を確認します。
マフラー	騒音防止のため	排気音と温度を低減します。
ホイール・ベアリング	安全走行のため	ホイールの回転を円滑にします。
ホイール・アライメント		ハンドルの操作性を向上させます。 タイヤの編摩耗を防止します。
ATFの交換	経費節約のため	滑らかな変速と確実な接続が得られます。
CO/HC濃度	環境保全のため	有害な排気ガスを点検します。
タイヤの溝の深さ	安全走行のため	タイヤの残溝:5000Km/1mm(シビアな使用は半分)
ブレーキ・パッド 及びライニングの厚さ		パッド:5000Km/1mm(シビアな使用は半分) ライニング:15000Km/1mm